

会 議 名	平成30年11月28日定例記者会見
日 時	平成30年11月28日（水） 午前10時～10時15分
場 所	庁議室

発言者	内 容
広報課長	<p>開会</p> <p>それでは定刻になりました。ただいまから定例記者会見を始めます。本日は市からの発表事項が3件となっております。それでは市長お願いいたします。</p>
市長	<p>市からの発表事項 ネーミングライツ・パートナー募集 ～福島市国体記念体育館～</p> <p>おはようございます。それでは私から3件発表させていただきます。</p> <p>まず1点目は、ネーミングライツ・パートナーの募集についてです。今回は福島市国体記念体育館につきまして、ネーミングライツ・パートナーを募集いたします。</p> <p>記の2にあるように、愛称には企業名などをつけることが可能。それから、親しみやすさや呼びやすさなど市民の皆さまの理解が得られる愛称にしてほしいというのが我々の要望です。ネーミングライツ料及び契約期間につきましては、希望金額は年間300万円以上、それから契約期間は来年の4月から5年間ということにしております。募集の期間は11月28日（水）本日から12月28日（金）まで1カ月ということであります。</p> <p>今回は市からこういう施設とお示しをして募集をするということです。国体記念体育館も、市民におなじみの名前かもしれませんが、国体開催から20年も経っていますし、それからなんといってもオリンピック・パラリンピックが再来年開催され、福島市でのスポーツ関係の行事が非常に多くなって、注目度が高くなっております。その点では、この体育館にネーミングライツを導入するというのは非常に企業にとってはメリットがあるのではないかと考えておりますので、ぜひパートナーとして名乗りを挙げていただきたいと思います。</p> <p>日本を代表する選手たちが福島市に集結！ ～第20回日本ボッチャ選手権大会&車いすバスケットボール日本代表合宿～</p> <p>それから2点目につきましては、日本を代表する選手たちが福</p>

島市に集結ということで第20回日本ボッチャ選手権大会の開催と、車いすバスケットボール日本代表合宿についてお知らせをするものです。

ボッチャは、2020年のパラリンピックの競技大会で正式種目になっています。ボッチャでの日本代表は、火の玉JAPANという愛称があるそうですが、これまでリオのパラで団体の銀メダル、それから先に行われました世界選手権でも銀メダルを獲得しております。東京2020でのメダル獲得の有力な種目ということで期待されています。今回はその銀メダルの獲得でのチームの主翼を担った杉村、廣瀬両選手も大会に参戦をされます。世界レベルのボッチャの妙技をぜひご覧いただきたいと思います。

日にちは1に書いてありますように、11月30日(金)、これは公式練習になります。実際の開催は、12月1日(土)と12月2日(日)、この2日に渡って競技が開催される予定であります。なお観戦料は当然無料でありますし、それからその他に書いてありますように、観客向けのボッチャ体験ブースの設置、それからボッチャ用具の販売、それからパラの種目ですので、障がい者の授産施設で作られた飲食物を販売するという事にいたしております。なお、体験・講習ということで11月30日(金)に吉井田学習センターでメディアの皆さん向けの講習・体験会を実施いたしますので、皆さんもいつも取材しておられたわけですが、ぜひご自分で体験をしていただければと思います。なかなかこれ、私も何回かやりましたが奥が深いですよ。意地悪な人はたぶん強いかもしれません。

それからもう1点は、同じくパラリンピックの正式種目の車いすバスケットボールのU-25の女子日本代表の合宿が行われるというお知らせです。

2にありますように、日にちは12月13日(木)から16日(日)までとなっております、場所はオープンしたばかりのNCVふくしまアリーナで行われるということになっております。

こういったパラの、障がい者のスポーツ大会の開催を通じて、障がい者スポーツへの理解・関心を深めていきたいと思っております。これは市民の皆さまに参加を呼びかけるとともに、先日枠組みを作りました福島圏域の連携推進協議会の構成団体にも呼びかけをして、ぜひなかなかない日本選手権、トップレベルの試合ですので、皆さまにもご覧いただきたいという風に呼びかけることにしております。

市長	これは、ここでいろいろ取り上げて取り込んでくることになると思います。
記者	現在の構成、予定というかそういうものはありますか。
市長	予定というところとちょっとまた違うかもしれませんが、具体的にすごく良いところとすれば、例えば飯野の花やしき公園とか、あるいは信夫の城山ですね。それから、平田のほうにも新しい花見山のようなところがあります。それから飯坂の花桃の公園、あるいは花ももの里とか2つあるんですけども、こういったところがまあ1つ花の名所と言えるわけです。それから、あとはこれまでも市でチャレンジガーデンというものをやっております。要するに民家の方々が自分のお庭とか農園を使って花のスポットにして、それで開放しているのもあるんですね。そういったものもぜひ取り込んでいきたいというふうに思っております。
記者	そうするとその花やしき公園だったり、花ももの里だったりの関係者の方もこの中のメンバーに入ってらっしゃるといことですか。
市長	そうですね。全部が全部というところとまた多くなりすぎますので、そこはその関係者も一部入っていただいていると思います。ちょっと今確認できませんが。
記者	市長が考える今その花観光の課題というのはどういうところにあるのでしょうか。
市長	例えば今年、花見山も非常にこの天候不順で早くなってしまったんですね。それで結局花見山観光を予定していた方が、例えば1番ピークと思っていた時にもう終わってましたので、それでもうやめてしまうとかそういうこともあり得るわけです。その場合にはじゃあ別の、やっぱり時差がありますんで、そちらに回していこうとか、そういう連携もできるわけです。だからその点では、こういうものを我々がオプションとして用意しておけば、様々な観光商品というのは可能で、そういう時期による問題というのでも軽減されると思うんですね。それからやっぱりそういうものを巡って歩くというのがまた非常に面白いですし、車だけではなくて、例えば自転車で巡って歩くという場合もあるわけですね。ですからそういう面での花観光というのは、そういう連携をさせることでより厚みがあって、魅力的なものになるだろうと思ってい

<p>記者</p>	<p>ます。 あとはですね、実はこの中に花というにはどうかと思っているんですけれども、私としてはできれば盆栽なんかも取り上げていきたいと思っています。やはり広く、緑に関する花ということで。</p>
<p>市長</p>	<p>そうすると吾妻山とかそういうものでしょうか</p>
<p>広報課長</p>	<p>山というよりは、盆栽の資源という意味ですね。</p> <p>そのほかご質問ございましたらお願いいたします。 では発表事項についてのご質問は無いようですので、最後にその他皆さまからご質問等あればお願いいたします。 その他皆さまのほうからのご質問ございましたら、終了となりますが皆さまよろしいですか。</p>
	<p>閉会 それでは本日の定例記者会見を終了いたします。皆さまお疲れ様でした。</p>